

酸素欠乏・硫化水素危険作業に係る特別教育受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 脇 良平

1. はじめに（目的等）

農場内には、酸素欠乏の危険や硫化水素危険作業等が多々あり、非常に危険である。酸素欠乏症・硫化水素中毒は致死率が高く非常に危険だが、作業環境測定、換気、送気マスク等の呼吸用保護具の使用などの措置を適正に実施すれば発生を防ぐことが出来る。このため特別教育を受講し、安全に作業に従事する。

2. 期間・場所

期間：令和 4 年 6 月 3 日 合計 5.5 時間

場所：CECC 建設不動産総合研修センター WEB 講座（職場内、職場のパソコンで受講）

3. 参加者等

1 名(本人)

4. 研修内容

聴講した講習・講演の内容は以下の通りである。

酸素欠乏等の発生の原因に関する事項、酸素欠乏症等の症状に関する事項、空気呼吸器等の使用の方法に関する事項、事故の場合の退避及び救急蘇生の方法に関する事項、その他酸素欠乏症等の防止に関し必要な事項

5. まとめと感想

今回受講して初めて知る事がたくさんあった。空気中の酸素の割合は 21%であるが、もしこれが半分以下であった場合、瞬時に体に異常をきたし動けなくなったり、失神してしまう。たとえ 2 人で作業をしていたとしても、知識がなく救出に入った際に続けて意識を失ってしまう。このような危険箇所は職場内で共通認識として確認が必要だと感じた。